

いしごろ
動物病院

Animal News

第4号

開業してすぐに病院に捨てられていました。目もあいていないのになぜか食パンとともに……。でも、元気になりましたよ。

病院の看板猫
子ビちゃん

中年～老年に多く見られる病気

雄(♂)編

前立腺肥大

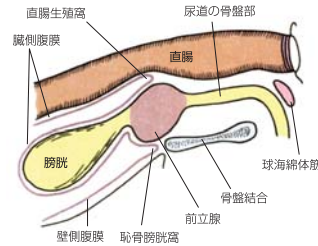
前立腺は膀胱の後方に位置します。この病気は精巣から分泌される男性ホルモンのアンバランスが原因で前立腺が異常に大きくなるものです。

特徴・症状

- 一般的に5歳以上の去勢していないワンちゃんに多く見られる。
- 前立腺が大きくなるにつれ、真上にある結腸を圧迫するため便が出にくくなったりする。排便時に痛みを伴ったり、しぶりが起こることがある。
- 肥大が進むと尿道を圧迫して排尿障害が 見られることがある。

診断

- 直腸検査により、前立腺の大きさを見る。より確実なのはXray(レントゲン)・エコーにて大きさを見る。



治療

- 去勢手術が一般的である。

雌(♀)編

子宮蓄膿症

子宮が細菌感染を起こし、子宮の中に膿がたまってしまう病気です。場合によっては、膿がたまった子宮は正常の10倍以上に腫れることがあります。

特徴・症状

- 避妊手術をしていないワンちゃん、ネコちゃん。
- 発情が終わって1～2ヶ月後に発生することが多い。
- 陰部より膿が出る。(全く出ないタイプもある)
- 水を飲む量が増え、尿量も増える。
- 急速に元気や食欲がなくなる。症状が進むにつれ嘔吐、腹部膨満が見られる。



診断

- 陰部より膿が出ていれば診断の助けとなる。他に血液検査、Xray、エコーにより診断できる。

治療

- 早期に膿の溜まった子宮を摘出すること。

前立腺肥大・子宮蓄膿症とも去勢手術、避妊手術を行うことで予防できます。子供を産ませるつもりのないワンちゃん、ネコちゃん、手術を検討してみてください。

ワンちゃん、ネコちゃんの

乗り物酔い

春～夏になるとワンちゃん、ネコちゃん(は少ないかな?)を連れて外に出かけたくになりますね。少し遠くに行こうとするなら、車に乗せることになるでしょう。ワンちゃん、ネコちゃんにも乗り物酔いがあります。乗り物酔いのことを医学用語では「加速度病」と言います。乗り物による揺れや動きによって、耳の奥の内耳と呼ばれる器官の、速度に影響される機能が刺激を受けます。この刺激が繰り返され、気分が悪くなる状態が乗り物酔いです。幼い頃から車などの乗り物に慣らされていると乗り物に酔いにくくなる場合があります。しかし、多くのワンちゃん、ネコちゃんはこのような機会が少ないので、乗り物酔いになることが多いです。



■対策として

- ①食事は、ワンちゃん、ネコちゃんが乗り物酔いで苦しまないように直前には与えない。
- ②ケージ内で落ち着くのであれば、ケージを用意する。
- ③車の中で自由にさせる場合、首輪にリードを付けるのではなく、ハーネスのように肩と前足で掛けられるような胸輪付きリードでつなぐ。
- ④時々、窓を開けて換気をしてあげる。
- ⑤急ブレーキ、急カーブなどの運転はしないようにする。
- ⑥乗り物酔いがひどく、長時間の車での移動の場合、連れていくよりもペットホテルなどに預ける方法も考える。当院もワクチンを注射しているワンちゃん、ネコちゃんはペットホテルを受け付けていますので、ご相談下さい。

特に夏期は、車中での熱射病も多いので気を付けましょう。楽しいドライブができるといいですね。

なみちゃん、まいちゃん、ほっちゃんの

しつけの
ポイント

【アルファ・シンドローム】(権勢症候群)

飼い主の甘やかし過ぎやしつけ不足により愛犬が「自分がリーダー」と思ってしまい、引き起こされる問題行動。

お宅のワンちゃんは大丈夫?

- 食事中に体を触ると怒る、噛みつく
- 散歩中にリードを引っ張り先を歩く
- おもちゃを取り上げると威嚇する
- 呼んでも無視する
- 仰向けになりおなかを触らせない・頭を撫でさせない

どうやって直したらいいの?

- 食事は決まった時間に与え、飼い主の食事が先
- 食事、おやつの間には「座れ」「待て」を徹底する。
- 玄関、門の出入りは飼い主が先
- 犬と目線を合わせることを心がける
- 良いことをした時だけ大げさに誉める

飼い主さんとワンちゃんがより良い信頼関係の中で楽しく暮らしていけることを願っています。



● 院長のメッセージ

● フィラリア

● 春夏に多い皮膚病

● What 動物の病気

● 乗り物酔い

● しつけのワンポイント